

Azabujūban Gallery

Azabujuban Gallery

〒106-0045

東京都港区麻布十番 1-7-2 エスポワール麻布 102

TEL | FAX 03-5411-3900

開廊時間 11:00-19:00(展覧会最終日は 17:00迄)

休廊日：火曜日

Web : <http://azabujuban-gallery.com>

都営地下鉄「麻布十番駅」7番出口から徒歩3分または、
東京メトロ南北線「麻布十番駅」4番出口から徒歩4分です。

ギャラリーには駐車スペースがございませんので近隣の駐車場をご利用下さい。



オープニング・レセプション

2016.08.24(Wed) 13:00-15:00

*アーティストも在廊していますので、お気軽にご参加下さい。

いわゆるポストモダンと呼ばれた80年代以降、社会や政治、あるいは様々なメディアへと、作品としての対象・素材も拡大し続けている。しかしながら、その多様性に潜む「表現」、すなわち美術の根源であるアーティストの技術力は、今なお人々を魅了してやまず、かつ鑑賞の指標として健在なのではないだろうか。

本企画は、そのような多様性に潜む技術を照らし出し、かつモダニズム的なジャンルを軽やかに越境する新進作家たちの「表現」に注目する。サブタイトルに「東西新進作家による「表現」の地平・2016」を掲げ、関東と関西からそれぞれ、芸術大学を卒業して、個々の関心をさらに探求し続けている4名の新進作家を選出している。7月には関東、8月には関西の作家による作品展示を行う。

本展では、テーマを「越境するファンタジー」とし、関西の作家4名による展示を行う。彼らはそれぞれ漆・構想・染色・版画の技術を学びながらも、作品へと昇華する過程で、素材・ジャンル・形式・イメージなどの境界を軽やかに飛び越えていく。そのような行為を通して、より普遍的あるいは一方で身近な視点・概念・感性を探ろうとしているように思える。またその越境する際には、不思議なノスタルジー・忘れていた記憶を呼び覚ますトリガー（引き金）のようなものを感じさせてくれる。その瞬間は、あたかもファンタジー、魅惑のパルスのようなものである。

本展を通して、多様性と言われながらもなお、訪れる人に作品との対話を促し、感性に働きかける力、すなわちアーティストのみが有する「技術（art）」の魅力を改めて照らし出し、今日の「表現」の地平を探るための、ジャンルを越境する躍動的な空間を提示することを試みたい。

コーディネーター 河明求、山下晃平

越境するファンタジー
- 東西新進作家による「表現」の地平・2016 -

8.24(Wed) ~ 8.29(Mon)
11:00 ~ 19:00 (展覧会最終日は 17:00迄)